

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

変更

スプリングワッシャーを追加しました。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

- ### お願い
- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
 - 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
 - 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取付けないでください。
 - みだりに改造や変更はしないでください。
 - 組立ては、所定のねじを使用して最後まで締付けてください。締付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
 - 商品の上に乗ったりはしごをかけないでください。商品の破損だけでなく落下事故の原因になります。
 - 取扱説明書・使い方 & お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

施工上の注意

以下のような場所への取付けはできません。

- 2、3階に取付けることを前提として設計してあります。
設定階を超える場所への取付けは破損の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- 掘込み部の上に柱をたてることはできません。掘込み部を避けて取付けてください。

商品仕様

| 姿 図 | コーナー用 | 中間用 |
|-------|------------------|------------------|
| | | |
| 施工方法 | 後付施工 | 後付施工 |
| 躯体補強 | 不要 | 必要 |
| 笠木の種類 | フラットタイプ 傾斜タイプ | フラットタイプ 傾斜タイプ |

シーリングは必ず実施してください！

- 「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。シーリングがされないと、漏水の原因となります。
- シーリング材は別途手配品です。

躯体補強について

躯体補強（商品仕様参照）が必要な場合、以下を参考に建築業者様と事前に打合わせを行ってください。

躯体補強について

- 外壁仕上げの前にバルコニー屋根の柱位置を決め、真下に □90mm以上の補強柱（木）厚さ70mm以上の笠木（木）を現地にて取付けてください。
- 風による吹上げ荷重がかかるおそれがあります。以下を参考に補強柱を強固に連結してください。

| 部品 | 仕様 |
|-----------|-------------------------|
| L型金具 | 鋼製 厚さ7mm以上 幅85mm以上 |
| 六角ボルト(M8) | ねじ山が2山以上ナットから突き出していること |
| 六角ナット(M8) | - |
| 丸座金(M8) | 厚さ4.5mm以上 |
| 角座金(M8) | 丸座金直径45mm以上 角座金一辺40mm以上 |

座金(M8) 30
六角ナット(M8)
六角ボルト(M8)
L型金具
補強柱：□90mm以上
笠木：厚さ70mm以上

A: 56mm以上 (ボルト径の7倍以上)
B: 56mm以上 (ボルト径の7倍以上)
C: 13mm以上

上記の例以外に、「羽子板ボルト」などの建築金物で固定することも可能です。ただし、鉛直上向きの短期荷重7.5 (kN) に耐える強度にしてください。

柱長さの算出・切詰め

1 補強柱の確認

躯体に取付けた補強柱の位置を確認してください。

2 柱長さの算出・切詰め

現地にて $H_{max} \cdot D \cdot a$ 寸法を測定し、柱長さを算出・切詰めてください。

柱移動距離(a)範囲表

| 強度 | a | |
|-------|---------|---------|
| | アール型 | フラット型 |
| Iタイプ | 130~500 | 120~500 |
| IIタイプ | 160~500 | 130~500 |

Iタイプ

600N/m²

| 桁 | 1~2間 |
|----|------|
| 3R | |
| 4R | |
| 5R | |
| 6R | |
| 7R | |

IIタイプ

1500N/m²

| 桁 | 1~2間 |
|----|------|
| 3R | |
| 4R | |
| 5R | |
| 6R | |
| 7R | |

- 測定したaをグラフにあてはめ、Bを求めてください。
B = () mm この表は、標準柱移動距離を300mmに設定しています。

〈アール型〉Iタイプ

〈アール型〉IIタイプ

〈フラット型〉Iタイプ IIタイプ

施工方法

① 柱連結ブラケットの取付

下穴(φ6.5)をあけシーリング材を充てんし、コーチボルトで柱連結ブラケットを取付けてください。

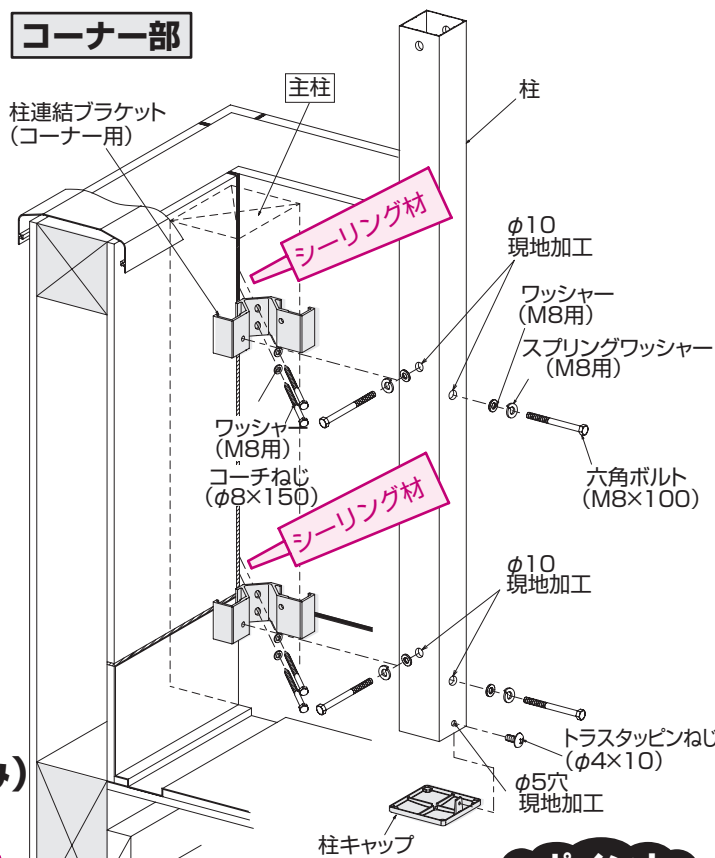
注意

- 柱連結ブラケットは、確実に躯体柱へ取付けてください。
- 躯体に雨水が浸入するおそれがあります。コーチボルトの下穴およびコーチボルトの周囲は確実にシーリング処理を行ってください。

お願い

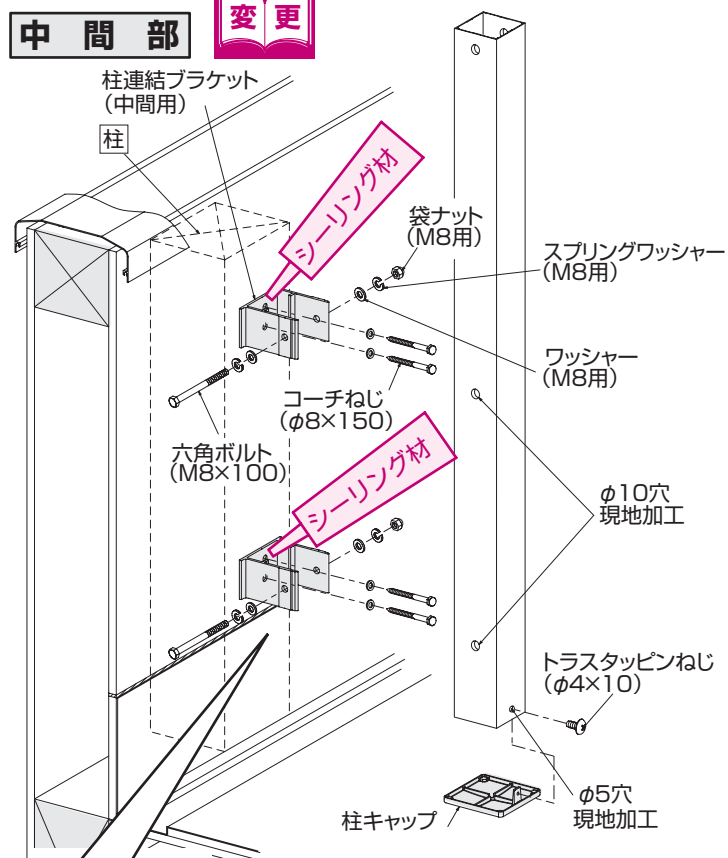
柱連結ブラケットはなるべく離して取付けてください。

コーナー部



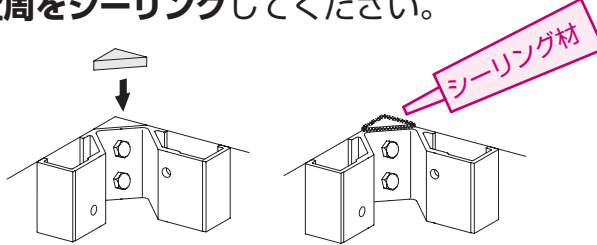
中間部

変更



② クッション材の取付(コーナー用のみ)

クッション材を上から差込み、全周をシーリングしてください。



③ 柱の穴あけ

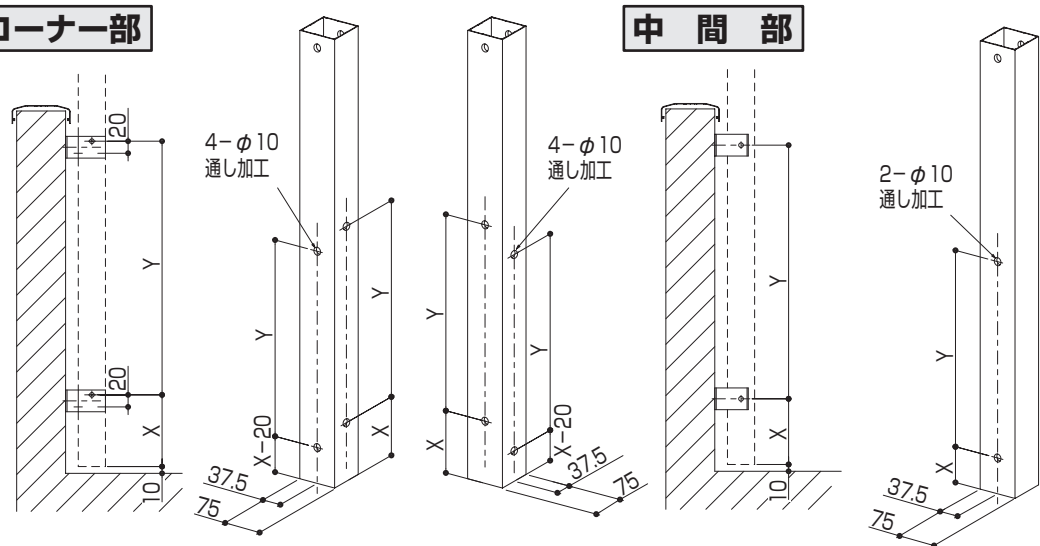
下図を参考にX、Y寸法を測定し、通し穴(φ10)をあけてください。

ポイント

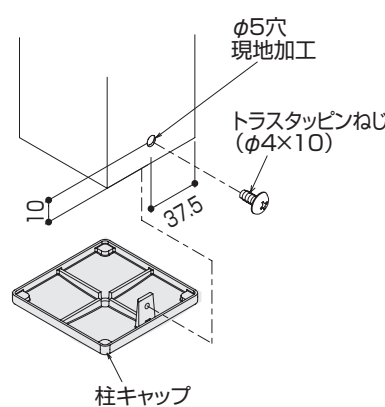
- 柱の向きに注意してください。
- 排水口カバーがある場合、柱のF.Lからの高さ(10mm)は、カバーを避けた寸法に切詰めてください。

コーナー部

中間部

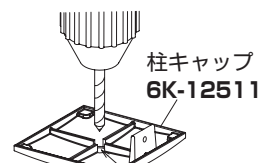


④ 柱キャップの取付



ポイント

下側の柱キャップの中心にφ9の穴をあけてください。まずφ4.5の下穴をあけてから、φ9の穴をあけてください。



⑤ 柱の取付

六角ボルトで柱を取付けてください。

以降は、本体の組立・施工説明書をお読みください。

納まり参考図

コーナー部

中間部

